

令和5年度の学力向上に向けた取り組み

(1) 「レゴブロック型の能力の育成とインクルーシブ教育の実現」

新型コロナウイルス感染症がもたらした大きな社会変容の中で、様々な課題を自分事として捉えながら「何ができるか」を主体的に考え、ニューノーマルと呼ばれる新たな常識を創造する、変革の推進力となる人材の育成が求められております。

持続可能な社会の創り手を育てる学校教育では、レゴブロック型の資質能力を育成する教育の充実と、障害のみならず、人種の別や男女差、性についての指向性、一人ひとりの個性と価値観を認め、自分らしく在るための選択や決定を尊重する、インクルーシブ教育を実現し、知識及び技能や思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の資質・能力の育成に向け、取り組みを進めてまいります。

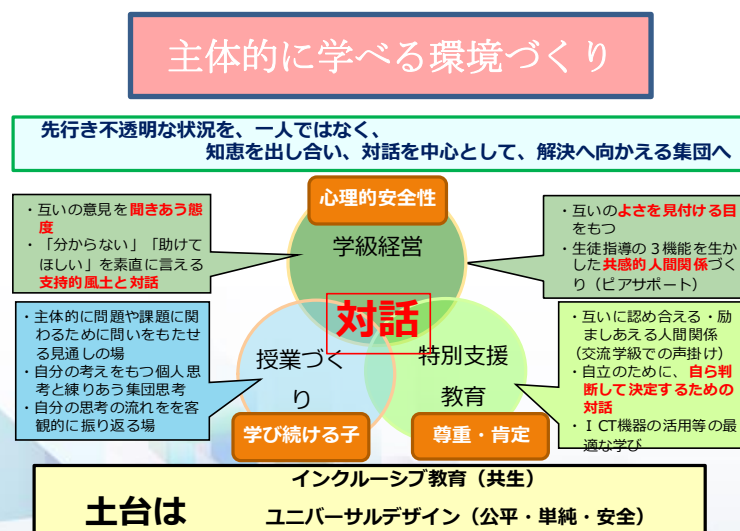
新たな常識を創造する、変革の推進力となる人材育成に向けて

(2) 「学びの深まりを実感し、自ら学び続ける子どもの育成

～児童・生徒の言葉で紡ぐ授業を通して～]

昨年の学力向上プロジェクトでは、「好奇心をもって授業にのぞむ子どもの育成～主体的な学びと質の高い対話を通して～」という提言のもと、対話の質を高めるため、子どもたち同士が互いを尊重し、認め合う学級経営、授業改善、特別支援教育の充実を図り、安心して主体的に学べる環境づくりや、子どもたちの対話による学びの充実に取り組んでまいりました。その結果、授業時間における思考の時間は確保でき、子どもたち同士の対話の量が増え、ICT機器の活用率が高まる等の授業改善が進みました。

本年度は、対話を中心にすえつつ、子どもたちが学びを自分事として捉え、個人思考で解決法を探り、他者と協働して集団思考で共有し、対話を通して課題解決できるよう、質の向上に努めます。課題を解決することに対して、当事者意識をもたせるための授業



を組み立て、互いに考えを出し合い、協力して問題を解決していく力が必要であると考えます。

学力向上プロジェクトでは、本年度は、「**学びの深まりを実感し、自ら学び続ける子どもの育成～児童生徒の言葉で紡ぐ授業を通して～**」を実践するため、子どもたちが「主体的に」学びに向かい、学びの深まりを実感できるための授業づくりを推進してまいります。

対話の質の向上



(3) 対話的な学びの土台は、互いに認め合い、尊重すること

子どもたちが対話的な学びをしていく上で、お互いの意見を認め合い、尊重して意見を交わす態度が必要です。そのため、インクルーシブ教育の理念をもとに、ピアサポートの考え方を取り入れるなど、子どもたち一人ひとりが、自分の考えをもち、それを発信してお互いに切磋琢磨しながら考えを深めていく学習活動に取り組むことが大切です。公民館事業の「ねむろ子どもピアサポート（通称 Ne-Ko-P）」もその一環であり、地域と一緒に根室の子どもたちの教育を進めてまいります。

ICT 機器を活用した生き生き授業

(4) いつでも、どこでも、活用して学ぶ

個別最適な学びを保障することにおいて、ICT機器の活用は必須であります。本年度から、ICT機器を家庭に持ち帰り、家庭での学習でも活用しています。学校での学びと家庭での学びがつながられるよう、ICT機器を活用して、学びの効果が得られるように、各学校で端末の持ち帰りねらいや、活用方法の指導等を通して、子どもたちが有意義に使用できるように指導・支援を行ってまいります。また、ICT機器使用上のルールや、注意事項、持ち帰り時の子どもたちへの配慮等を保護者とも共有し、学びのためにICT機器を大いに活用することができるようにしてまいります。

端末持ち帰り

児童・生徒用

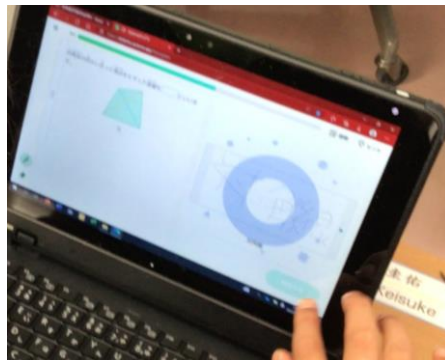
タブレットを使うときの5つの約束

- タブレットを使うときは姿勢よく**
・タブレットを見るときは、目を**30cm以上**、離しましょう。
- 30分に1回はタブレットから目を離す**
・30分に1回はタブレットの画面から目を離して、**20秒以上**、遠くを見ましょう。
- 寝る前にはタブレットは使わない**
・ぐっすり寝るために、**寝る1時間前**からはデジタル機器等の利用は控えましょう。
- 自分の目を大切に**
・時間を決めて遠くを見たり、目が乾かないようにまばたきをしたりして、自分の目を大切にしましょう。
- ルールを守って使う**
 分使ったら1回中断する、学校のタブレットは学習に関係のないことに使わないなど、学校や家庭のルールを守って使しましょう。

(5) AIドリルの導入

根室市では、本年度、市内全小中学校、義務教育学校の児童生徒の端末に、基礎的・基本的事項の習得のために活用できるAIドリルを導入しました。子どもたちが、自ら習得状況が確認できるとともに、AIが判定して、その子に必要な学びについて問題を自動生成する機能等があり、自分のペースで学ぶことができます。授業中の活用はもちろんのこと、朝学習の時間や放課後学習の時間、家庭での学習でも活用できるようにしてまいります。

AIドリルの活用



(6) 遠隔とオンライン授業の整備と活用

ICTの強みの一つとして、距離に関わりなく相互に情報の発信・受信のやり取りができる（双方向性を有する）ことがあげられ、この強みをうまく生かした遠隔教育では、校内のオンラインによる全校集会や学校同士をつないだ合同授業の実施や外部人材の活用、幅広い科目開設など、教師の指導や子供たちの学習の幅を広げることができます。小規模校と近隣の学校をつなぎ、合同で授業を行うことで、多様な意見や考えに触れたり社会性を養ったりする機会が増加するなどの効果を挙げることができます。また、道外各地域とのオンラインによる交流授業を行うこともできます。昨年度から、根室市の姉妹都市である富山県黒部市の小学校とお互いの地域の素晴らしさの紹介や、北方領土問題について交流するオンライン授業を行っています。また、包括連携協定を結ぶ北海道科学大学の協力により、プログラミング学習を行うなど、引き続き、ICT機器を最大限活用した子どもたちの力の育成に努めてまいります。

オンラインの活用



コミュニティ・スクール(学校運営協議会)

(7) 学校運営協議会制度

昨年度より、全中学校、義務教育学校校区において、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を設置しました。「ふるさと根室を想い、行動する子どもを地域で育てる」ことを目指し、各運営協議会において学校と地域が「どんな子どもに育てほしいか」を協議して、学校と地域が一体となって、持続可能な地域づくりに取り組み、将来の根室を担う子どもたちの育成を目指して、市全体でコミュニティ・スクールを展開してまいります。

令和4年度より、全ての根室市立学校において

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)がスタートします

コミュニティ・スクール(CS)とは、学校の経営方針を学校と地域が共有し、その実現に向けて、学校と地域が一体となって、将来の根室を担う子どもたちを育てる仕組みです。

学校運営協議会 どんな子供に育ててほしいか

保護の子は頑張る子どもが多いので、人を大切にしてみんなと協力する力を高めてほしいわね!

子どもたちには、授業に自信と誇りをもってもらいたいよね!

地域のよさを教えてあげれば、将来根室で働いてもらえないかな!

地域で子どもを育て、その子がまた地域で子どもを育てる。そんな地域にしたいね。

学校と地域が協力して行っていく教育活動

- ～地域体験活動～
- ～北方領土学習～
- ～就業と連携した特別学習～
- ～木の読み聞かせ～
- ～水産学習～
- ～「教えて地域の先生」の節

これまで市内の学校では、保護者や地域の方々の協力もいただきながら、様々な教育活動が行われてきました。これらの取組をさらに充実させ、**将来の根室を担う子どもたちの育成**を目指し、コミュニティ・スクール(CS)を市全体で展開していきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】 根室市教育委員会
教育総務課 〒087-8711 根室市常盤町2丁目27番地 ☎代表 0153-23-6111

幼保小中高の連携がはじまります

(8) 幼保小中高の連携の充実と推進

① 幼保小の連携

子どもの生活のほとんどは、「遊び」でしめられており、『遊び』そのものが『学び』であると捉えられています。遊びの中で、「気づき、考え、試す」といった探究をしながら、成長や発達にとって重要なことを学びます。小学校、義務教育学校へ入学すると、「遊びの場」から「学びの場」へと変化することにより、落ち着きがなくなったりして学習に集中できなくなる「小1プロブレム」という環境に馴染めなくなる子どもがいます。この「小1プロブレム」を防ぐために、幼保小連携会議が中心となって、1日体験授業や1日体験入学の企画、推進を行います。**幼児教育で育てたい10の姿をもと**に、小学校、義務教育学校が幼保へ指導法を見学させてもらったり、小学校、義務教育学校との引継を統一して行い、入学に向けての情報共有を図り、子どもたちがスムーズ

1日体験入学



ズに小学校生活に入れるよう、スタートカリキュラムを作成しています。

②小中高の連携の充実と推進

根室市内の小中学校、義務教育学校と根室高校の連携が本格的に始まっています。根室高校の演劇部による「人や国による差別」について考える演劇を「あっとほーむねむろ」のYouTubeチャンネルに掲載し、児童・生徒に道德の時間などで考



えてもらいました。また、長期休業中の市内の中学校での高校生による学習支援、市内の小学校での根室高校北方領土研究会による「北方領土学習」の出前授業、根室高校生による入学説明会の実施等の連携が始まっています。

特別支援教育の充実

(9) 特別支援教育の充実と推進

個々の児童・生徒の特性や障害にかかわらず共に学ぶインクルーシブ教育を進め、ニーズに応じた個別の支援により学力の向上と今後の共生社会を生きる子どもたちの育成を図ってまいります。また、5歳児相談が実施されることにより、就学前より支援の必要な幼児への早期の支援を始めることができるようになりました。



①接続カリキュラムの充実

新入学児童の小学校生活の円滑なスタートを図るために接続カリキュラムの充実、「子育てファイル」りんくす・ねむろ」の活用による幼稚園・保育所と小学校、義務教育学校の効果的な引継ぎを進めてまいります。また、幼・保・小・中それぞれの段階においても、「いままで」の学習内容をしっかりと定着させ、「これから」の学習内容を着実に積み上げていくことができるように個々の子どもたちが必要とする支援に努めていきます。

② 特別支援教育支援員（特別支援員・介助員）の拡充に努めます

学級に在籍する支援を必要とする児童生徒への教育的対応が求められていますが、教師だけでは十分な支援が困難な場合が多くあります。教員の円滑な授業をサポートしたり、早期支援を必要とする児童・生徒に対し学習活動上のサポートを行ったりする特別支援員や介助業務員の拡充に努めます。



男女平等教育の推進

根室市は、『男女を問わずみんなが主役の街づくり』を掲げており、男女の性別にかかわらず、お互いのよさや感じ方を認め合い、誰もが「自分らしく」幸せに暮らしていくことができる社会の実現を目指しています。学校の名簿を男女混合名簿とする、また、敬称を「さん」に統一する取組を進めるなど、「男女は平等」という意識をもち、お互いを尊重していくという視点から、教育活動全体を通じた男女平等教育を推進していきます。

- ② 五十音順の男女混合名簿を導入。
- ② 性別にかかわらず、男女が互いの人権を尊重する意識を育む。
- ③ 他者を認め尊敬する心を培い、性別にかかわらず、自分としての考え方、生き方に自信をもてるようにする。

合わせて、呼び方も「～～さん」に統一します

「～～くん」「～～ちゃん」など、呼び方も様々であったものを、男女平等に「～～さん」に統一します。

家庭・保護者・地域との連携



(1) 「生活リズムチェックシート」の活用

「生活リズムチェックシート」の活用などにより、家庭と学校が連携して基本的な生活習慣の確立と学習習慣の定着を図ります。また、ゲーム機やスマートフォン利用等の子どもたちがトラブルの被害者や加害者にならないよう、ネット利用に関する家庭のルールづくり家庭のルールづくり「スイッチオフ22」も促進してまいります。

家族でスマホやインターネットの使用時間を話し合い、規則正しい生活習慣を身につけよう！

～守ろう！ぼくのわたしの生活リズム～
★みんなで作ろう我が家のスイッチオフルール★

家族みんなでルールを作りましょう。

ルールを作ったら、ルールを守って、家族みんながよくなることに努めて、毎日確認して守るようにしましょう。

トラブルにあったら、すぐに相談しよう。

「人を傷つけることや他人に迷惑は、絶対に避けよう。一度ネットに繋がったら、完全に切断させよう。」

ルールを作ろう！守ろう！「スイッチオフ」

【スイッチオフルールってなあに？】
スマホやケータイなどの電源を切る時間を決めること、家族みんなで見守り、自分の生活リズムに合ったスイッチオフルールを作ろう！

フィルタリングを必ず利用しましょう！

不適切なアプリやWebサイトの制限・利用時間の設定など、必ずフィルタリングをして、子供の成長に合わせた安全なスマホ使用ルールを作りましょう。

☆Webサイトの制限のイメージ

- 小学生モード (制限対象例)
 - ゲーム、動画、音楽など
 - ・検索、オカルトなど
 - ・SNS、掲示板など
 - ・アプリ、出会いなど
- 中学生モード (制限対象例)
 - ・検索、オカルトなど
 - ・SNS、掲示板など
 - ・アプリ、出会いなど
- 高校生モード (制限対象例)
 - ・SNS、出会いなど
 - ・アプリ、出会いなど
- 高校生プラスモード
 - ・SNS利用のルールやマナーを学習した人向け (制限対象例)
 - ・アプリ、出会いなど

フィルタリングを設定しても、親子の連絡用アプリなど必要なもののみをダウンロードすることで、その他の危険なサイトやアプリを無視することが出来ます。

フィルタリングサービスの利用について知りたい方、または携帯電話に関するトラブルなどでお困りの方は下記までご相談ください。

ご相談内容	ご相談窓口	受付時間
フィルタリングサービスの利用申込、設定に関するお問い合わせ (無料)	NTTドコモ ドコモオンラインセンター ドコモ電話から検索なしの「151」 — 携帯電話から (0120-800-000)	9:00～20:00 (年中無休)
サービスに関するご相談 事件に巻き込まれたら、 警察などへすぐ連絡	KDDI au auお客様センター au 114 携帯電話から検索なしの「159」 au 114 固定電話から検索なしの「159」 au 114 検索なしの「159」 ソフトバンクお客様センター ソフトバンク携帯電話から検索なしの「159」 ソフトバンク固定電話から検索なしの「159」 検索なしの「159」	月～金曜日 9:45～17:30 土曜日 9:00～17:00 — 年中無休 — 休日は24時間受付
ネット詐欺、悪質サイトなどに関するご相談	根室市消費者生活センター 24-0110 (県民) 24-9065 (市民)	月～金曜日 9:00～17:00

根室市青少年相談室 TEL 23-2955 (県民) 23-2956 (市民) 悩み事・心配事などお電話にご相談ください。
根室市青少年健全育成市民会議・根室市教育委員会